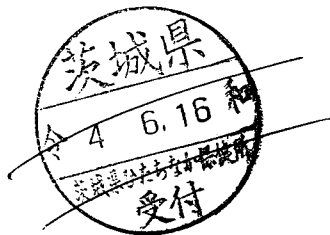




令和4年5月31日

茨城県知事

殿



主たる事務所の所在地
茨城県久慈郡大子町大子 856-1
医療法人 聖友会
理事長 鈴木直文^印
電話 0295 (72) 1550 ✓



決 算 届

令和3年 3月 1日から 令和4年2月28日までの決算を終了したので、医療法第52条第1項の規定により届出します。

様式 12

[添付書類]

1. 事業報告書
2. 財産目録
3. 貸借対照表
4. 損益計算書
5. 監事の監査報告書

A. 社会医療法人の場合、次の書類を添付すること。

6. 法第42条の2第1項第1号から第6号の要件に該当する旨を説明する書類

B. 社会医療法人債を発行した法人の場合は、次の書類を添付すること。(ただし、10及び11は社会医療法人に限る。)

7. 純資産変動計算書
8. キャッシュ・フロー計算書
9. 附属明細書
10. 公認会計士又は監査法人の監査報告書
11. 法第42条の2第1項第1号から第6号の要件に該当する旨を説明する書類

- (注) 1. 貸借対照表及び損益計算書は、病院、診療所又は介護老人保健施設別のものを提出する必要はなく、法人全体のものを提出すれば足りる。
2. 提出は毎会計年度終了後3月以内である。
3. 貸借対照表の純資産の額に変更があった場合は、登記事項(組合等登記令(昭和39年政令第29号)の変更登記が必要である。

事 業 報 告 書
(自 令和 3 年 3 月 1 日 至 令和 4 年 2 月 28 日)

1 医療法人の概要

(1) 名 称 医療法人聖友会

- ① ☐ 財団 ☐ 社団 (☐ 出資持分なし ☒ 出資持分あり)
② ☐ 社会医療法人 ☐ 特定医療法人 ☐ 出資額限度法人
☒ その他
③ ☐ 基金制度採用 ☒ 基金制度不採用

注) ①から③のそれぞれの項目 (③は社団のみ。) について、該当する欄の ☐ を塗りつぶすこと。(会計年度内に変更があった場合は変更後。)

(2) 事務所の所在地 茨城県久慈郡大子町大子 8 5 6 番地 1

注) 複数の事務所を有する場合は、主たる事務所と従たる事務所を記載すること。

(3) 設立認可年月日 平成 8 年 2 月 27 日

(4) 設立登記年月日 平成 8 年 3 月 25 日

(5) 役員及び評議員

	氏 名	備 考
理 事 長	鈴木直文	病院管理者
理 事	岩谷なほみ	病院薬剤師
同	原道子	他の医療機関医師
同	白川正樹	東館診療所管理者
同	安達栄治郎	介護老健施設やすらぎ管理者
監 事	辻与志郎	会計事務所職員

注) 1. 社会医療法人及び特定医療法人以外の医療法人は、記載しなくても差し支えないこと。

2. 理事の備考欄に、当該医療法人の開設する病院、診療所又は介護老人保健施設 (医療法第 4 2 条の指定管理者として管理する病院等を含む。) の管理病院者であることを記載すること。(医療法第 4 7 条第 1 項参照)

3. 評議員の備考欄に、評議員の選任理由を記載すること。(医療法第 4 9 条の 4 参照)

〔別 紙〕
様式 1

2 事業の概要

- (1) 本来業務（開設する病院、診療所又は介護老人保健施設（医療法第42条の指定管理者として管理する病院等を含む。）の業務）

種 類	施設の名称	開 設 場 所	許可病床数
病院	慈泉堂病院	茨城県久慈郡大子町 865 番地 1	一般病床 48 床
診療所	東館診療所	福島県東白川郡矢祭町東館字反田 13 番地 1	一般病床 無床
介護老人 保健施設	やすらぎ	茨城県久慈郡大子町大子 888 番地	入所定員 100 名 通所定員 20 名

注) 1. 地方自治法第244条の2第3項に規定する指定管理者として管理する施設については、その旨を施設の名称の下に【 】書で記載すること。

2. 療養病床に介護保険適用病床がある場合は、医療保険適用病床と介護保険適用病床のそれぞれについて内訳を【 】書で記載すること。

3. 介護老人保健施設の許可病床数の欄は、入所定員及び通所定員を記載すること。

- (2) 附帯業務（医療法人が行う医療法第42条各号に掲げる業務）

種類又は事業名	実 施 場 所	備 考
居宅介護支援事業所やすらぎ	茨城県久慈郡大子町大子 825 番地 1	

注) 地方公共団体から委託を受けて管理する施設については、その旨を施設の名称の下に【 】書で記載すること。

- (3) 収益業務（社会医療法人が行うことができる業務）

種 類	実 施 場 所	備 考
無し		

- (4) 当該会計年度内に社員総会又は評議員会で議決又は同意した事項

〇〇年〇〇月〇〇日 〇〇年度決算の決定

〇〇年〇〇月〇〇日 定款の変更

〔別 紙〕
様式 1

〇〇年〇〇月〇〇日	社員の入社及び除名
〇〇年〇〇月〇〇日	理事、監事の選任、辞任の承認
〇〇年〇〇月〇〇日	〇〇年度の事業計画及び収支予算の決定
〃	〇〇年度の借入金額の最高限度額の決定
〃	医療機関債の発行（購入）決定

注) (5)、(6)については、医療機関債を発行又は購入した医療法人が記載し、(7)以下については、病院又は介護老人保健施設を開設する医療法人が記載し、診療所のみを開設する医療法人は記載しなくても差し支えないこと。

(5) 当該会計年度内に発行した医療機関債

注) 医療機関債の発行総額、申込単位、申込期間、利率、払込期日、資金使途、償還の方法及び期限を記載すること。なお、発行要項の写しの添付に代えても差し支えない。

医療機関債を医療法人が引き受けた場合には、当該医療法人名を全て明記すること。

(6) 当該会計年度内に購入した医療機関債

注) 1. 医療機関債を購入する医療法人は、医療機関債の発行により資産の取得が行われる医療機関と同一の二次医療圏内に自らの医療機関を有しており、これらの医療機関が地域における医療機能の分化・連携に資する医療連携を行っており、かつ、当該医療連携を継続することが自らの医療機関の機能を維持・向上するために必要である理由を記載すること。

2. 購入した医療機関債名、発行元医療法人名、購入総額及び償還期間を記載すること。
なお、契約書又は債権証書の写しの添付に代えても差し支えない。

(7) 当該会計年度内に開設（許可を含む）した主要な施設

〇〇年〇〇月〇〇日	〇〇病院開設許可（ 〇〇年開院予定）
〇〇年〇〇月〇〇日	〇〇診療所開設
〇〇年〇〇月〇〇日	訪問看護ステーション〇〇開設

(8) 当該会計年度内に他の法律、通知等において指定された内容

〇〇年〇〇月〇〇日	公害健康被害の補償等に関する法律の公害医療機関
〇〇年〇〇月〇〇日	小児救急医療拠点病院
〇〇年〇〇月〇〇日	エイズ治療拠点病院

注) 全ての指定内容について記載しても差し支えない。

(9) そ の 他

注) 当該会計年度内に行われた工事、医療機器の購入又はリース契約、診療科の新設又は廃止等を記載する。（任意）

様式 3 - 1

法人名 医療法人聖友会
所在地 茨城県久慈郡大子町大子856-1

※医療法人整理番号				
-----------	--	--	--	--

貸 借 対 照 表
(令和4年2月28日現在)

(単位：千円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
I 流 動 資 産	367,122	I 流 動 負 債	384,669
現 金 及 び 預 金	15,722	支 払 手 形	0
事 業 未 収 金	290,078	買 掛 金	52,264
有 価 証 券	0	短 期 借 入 金	96,514
た な 卸 資 産	5,930	未 払 金	210,947
前 渡 金	5,248	未 払 費 用	143
前 払 費 用	5,407	未 払 法 人 税 等	846
そ の 他 の 流 動 資 産	44,737	未 払 消 費 税 等	2,329
II 固 定 資 産	482,947	前 受 金	58
1 有 形 固 定 資 産	436,555	預 り 金	21,568
建 物	256,451	前 受 収 益	0
構 築 物	1,427	○ ○ 引 当 金	0
医 療 用 器 械 備 品	51,648	そ の 他 の 流 動 負 債	0
そ の 他 の 器 械 備 品	12,163	II 固 定 負 債	488,164
車 両 及 び 船 舶	170	医 療 機 関 債	0
土 地	107,459	長 期 借 入 金	488,164
建 設 仮 勘 定	1,000	繰 延 税 金 負 債	0
その他の有形固定資産	6,237	○ ○ 引 当 金	0
2 無 形 固 定 資 産	13,363	そ の 他 の 固 定 負 債	0
借 地 権	10,000	負 債 合 計	872,833
ソ フ ト ウ ェ ア	2,585		
その他の無形固定資産	778	科 目	金 額
3 そ の 他 の 資 産	33,029	I 基 金	152,500
有 価 証 券	18,000	II 積 立 金	
長 期 貸 付 金	0	代 替 基 金	
保 有 医 療 機 関 債		○ ○ 積 立 金	
そ の 他 長 期 貸 付 金		繰越利益積立金	-175,264
役 職 員 等 長 期 貸 付 金	0	III 評 価 ・ 換 算 差 額 等	
長 期 前 払 費 用	3,583	そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	
繰 延 税 金 資 産	10,424	繰 延 ヘ ッ ジ 損 益	
そ の 他 の 固 定 資 産	1,022	純 資 産 合 計	△ 22,764
資 産 合 計	850,069	負 債 ・ 純 資 産 合 計	850,069

(注) 1. 表中の科目について、不要な科目は削除しても差し支えないこと。また、別に表示することが適当であると認められるものについては、当該資産、負債及び純資産を示す名称を付した科目をもって、別に掲記することを妨げないこと。

2. 社会医療法人及び特定医療法人については、純資産の部の基金の科目を削除すること。
3. 経過措置医療法人は、純資産の部の基金の科目の代わりに出資金とするとともに、代替基金の科目を削除すること。

様式 2

法人名 医療法人聖友会
所在地 茨城県久慈郡太子町太子856番地 1 4月

※医療法人整理番号

財 産 目 録
(令和4年2月28日現在)

1. 資 産 額 850,069 千円
2. 負 債 額 872,833 千円
3. 純 資 産 額 △ 22,764 千円

(内 訳) (単位：千円)

区 分	金 額
A 流 動 資 産	367,122
B 固 定 資 産	482,947
C 資 産 合 計 (A + B)	850,069
D 負 債 合 計	872,833
E 純 資 産 (C - D)	△ 22,764

(注) 財産目録の価額は、貸借対照表の価額と一致すること。

土地及び建物について、該当する欄の□を塗りつぶすこと。
土 地 (□ 法人所有 □ 賃借 ■ 部分的に法人所有(部分的に賃借))
建 物 (■ 法人所有 □ 賃借 □ 部分的に法人所有(部分的に賃借))

様式 4 - 1

法人名 医療法人 聖友会
所在地 茨城県久慈郡大子町大子856番地 1

※医療法人整理番号

損 益 計 算 書
(自 3 年 3 月 1 日 至 4 年 2 月 2 8 日)

(単位：千円)

科 目	金 額	
I 事業損益		
A 本来業務事業損益		
1 事業収益		1,331,952
2 事業費用		
(1)事業費	1,475,611	
(2)本部費	×××	1,475,611
本来業務事業利益		△ 143,659
B 附帯業務事業損益		
1 事業収益		7,732
2 事業費用		9,999
附帯業務事業利益		△ 2,267
C 収益業務事業損益		
1 事業収益		×××
2 事業費用		×××
収益業務事業利益		×××
事業利益		△ 145,926
II 事業外収益		
受取利息	×××	
その他の事業外収益	53,012	53,012
III 事業外費用		
支払利息	7,425	
その他の事業外費用	×××	7,425
経常利益		△ 100,339
IV 特別利益		
固定資産売却益	×××	
その他の特別利益	93,223	93,223
V 特別損失		
固定資産売却損	×××	
その他の特別損失	10,032	10,032
税引前当期純利益		△ 17,148
法人税・住民税及び事業税	×××	846
法人税等調整額	×××	×××
当期純利益		△ 17,994

(注) 1. 利益がマイナスとなる場合には、「利益」を「損失」と表示すること。
2. 表中の科目について、不要な科目は削除しても差し支えないこと。また、別に表示することが適当であると認められるものについては、当該事業損益、事業外収益、事業外費用、特別利益及び特別損失を示す名称を付した科目をもって、別に掲記することを妨げないこと。

監 事 監 査 報 告 書

医療法人聖友会
理事長 鈴木直文 殿

私は（注 1）、医療法人聖友会の令和 3 年度（令和 3 年 3 月 1 日から令和 4 年 2 月 28 日まで）の業務及び財政の状況等について監査を行いました。その結果につき、以下の通りに報告致します。

監査の方法の概要

私は、理事会その他の重要な会議に出席するほか、理事等からその職務の執行状況を聴取し、重要な決済書類等を閲覧し、本部及び主要な施設において業務および財産の状況を調査し、事業報告を求めました。また、事業報告書および会計帳簿等の監査を行い、計算書類、すなわち財産目録、貸借対照表および損益計算書（注 2）の監査を実施しました。

記

監査結果

- （1）事業報告書は、法令および定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- （2）会計帳簿は、記載すべき事項を正しく記載し、上記の計算書類の記載と合致しているものと認めます。
- （3）計算書類は、法令および定款に従い、損益および財産の状況を正しく示していることを認めます。
- （4）理事の職務執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

令和 4 年 5 月 2 4 日

医療法人聖友会

監事 辻与志郎 印

（注 1）監査人が複数の場合には、「私たち」とする。

（注 2）関係事業者と取引がある医療法人については、「財産目録、貸借対照表、損益計算書および関係事業者との取引の内容に関する報告書」とし、社会医療法人債を発行する医療法人については、「財産目録、貸借対照表、損益計算書、純資産変動計算書、キャッシュフロー計算書および附属明細表」とする。